

第40期 中間期

# 事業のご報告

2011年4月1日 ▶ 2011年9月30日

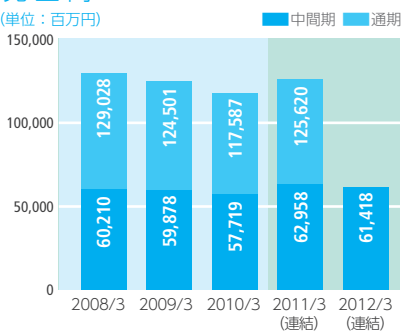
証券コード：9430



## 財務ハイライト

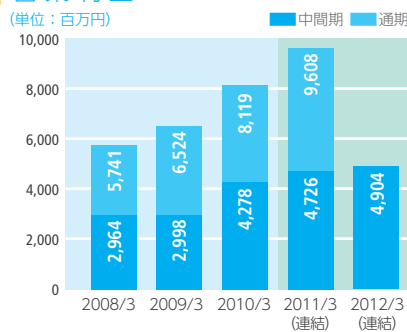
### 売上高

(単位：百万円)



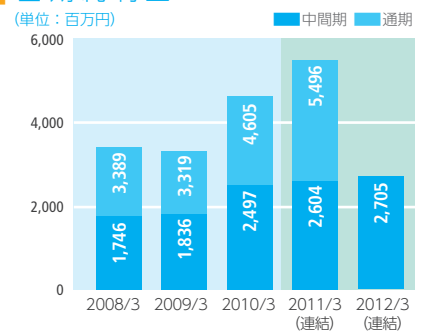
### 営業利益

(単位：百万円)



### 当期純利益

(単位：百万円)



## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社グループの2012年3月期中間期（第2四半期累計期間）における事業概況をご報告するにあたり、謹んでごあいさつ申し上げます。

本年6月開催の定時株主総会におきましてご選任いただき、代表取締役社長の任にあたることになりました。今後、NECモバイルリングのさらなる発展に向けて全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

携帯電話端末販売市場では、通信事業者がスマートフォン普及に向けて、販売促進施策を強化したことから、端末販売台数全体に占めるスマートフォンの割合は大きく上昇しました。また、スマートフォンに加え、タブレット端末やデータ通信専用端末などの需要も伸長し、販売市場は拡大しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、店舗におけるお客さまサービスの品質向上に努め、スマートフォンなど高機能端末への取替需要の積極的な取り込みを行うとともに、経営効率の改善などに取り組みました。

この結果、販売台数は前年同期に比べ約1割増加したものの、調達単価の減少に伴う販売単価の減少や保守サービス需要が減少したことなどにより、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。利益面では、従業員のモチベーション向上に向けた評価制度の充実などによる経営効率の改善や、アクセサリなど周辺商材の販売拡大、原価低減の取り組みなどにより、営業利益、純利益とも増益を確保することができました。

なお、配当金につきましては、中間配当は60円とし、年間配当は期初計画通り、前年度に比べ20円増配の120円を計画しております。

今後も、携帯電話に関連する既存事業の充実を図るとともに、新たな事業の開拓・拡大を推し進め、さらなる成長を目指してまいります。

株主のみなさまには、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 山崎 耕司

# トピックインタビュー 山崎社長にNECモバイルリングの経営についてインタビューしました。



代表取締役社長 山崎 耕司

- 1952年4月 山口県に生まれる
- 1972年4月 日本電気株式会社 (NEC) 入社
- 2010年5月 NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社 代表取締役執行役員社長 就任
- 2011年6月 NECモバイルリング株式会社 代表取締役社長 就任

## これまでの経歴を教えてください。

### 携帯電話の歴史とともに

私は、NECでずっとモバイル端末の開発・製造にかかわってきました。古くはポケットベルや、ページャーの「mola」、インターネット接続が可能なiモード対応携帯電話の1号機で、大ヒットした折り畳み型の「N501iHYPER」とそのシリーズの企画・開発、そして最近ではNEC初のスマートフォン「MEDIAS」の出荷がありました。直近の10年間は、特に市場が大きく変化しました。今般、携帯電話を作る側から販売する側への転身となりました。



mola

N501iHYPER

MEDIAS

## NECモバイルリングの強みはなんですか。

### 全国の販売網に加え、モバイル関連の技術力を持っています

当社は、ドコモショップを中心に、全国規模で携帯電話販売店を運営する会社です。また、販売だけでなく、携帯電話の修理や基地局エンジニアリングの技術力を持っている点が特長です。さらに、毎日、販売に注力しているショップのスタッフ、携帯電話の故障を解析して着実に修理している作業員、そして高速大容量のモバイル通信技術を扱うエンジニアなど、各現場一人ひとりの活躍が当社の大きな力となっています。

## 今後どのような方向を目指して経営を行っていくのでしょうか。

### 大きな事業機会の到来に、お客さまとの接点をプラットフォームとして拡大

モバイル市場では、スマートフォン登場を機に、劇的な変化が起きており、当社にとって大きな事業機会であると考えています。このなかで、お客さまと直接対面し、使い方を具

体的にご提案する販売現場の重要性が増しています。当社は、販売拠点を重要なプラットフォーム（基盤）として、取り扱い商材や、販売パートナーの拡大を図っていきます。また、ますます進化し多様化するモバイル通信技術をもとに、総合的にお客さま満足をご提供する会社を目指して、さらなる成長を図っていく計画です。

## 株主還元についてはどのようにお考えですか。

### 6年連続の増配を計画しています

当社は、株主のみなさまを重視することを経営の重要事項と位置づけており、これまで5年連続で増配を行ってきました。当期の年間配当金は、さらに20円増配の120円を計画しており、配当性向は30%を超える見込みです。今後も、成長基調を維持することで安定配当を目指してまいります。

株主のみなさまには、当社を長くご支援いただきたいと考えております。

## トピックス

### Topics 01

### ドコモショップ町田店がスマートフォン販売を強化したリニューアルを実施

2011年4月ドコモショップ町田店がスマートフォン販売強化のためにリニューアルをいたしました。同店は、JRおよび小田急線町田駅から徒歩5分の人通りの多いにぎやかな通りに面していることもあり、販売台数では全国のドコモショップのトップ5に入る優良店です。4フロアのうち1階の半分に、スマートフォンとタブレット端末を展示した「コンシェルジュ・サービス・センター」を設置いたしました。

スマートフォン販売が急速に伸びている中、お客さまからの問い合わせが増えており、テレビ電話を活用して、コンタクトセンターの専門家に直接相談できる「ビジュアル・コンシェルジュ・サービス」や、初期設定、SPモードのメール設定、電話帳移行などをサポートする「スマートフォン・コンシェルジュ・サービス」を設置して、お客さまサービスの向上を図っております。



コンシェルジュ・サービス・センター



スマートフォン・コンシェルジュ・サービス

### Topics 02

### 中国大手通信機器メーカー中興通訊の修理業務の受注拡大

中興通訊 (ZTE) の日本市場向け認定修理拠点として、2009年度より(株)ウィルコム向けカード型3G端末の保守修理業務を、2010年度にはソフトバンクモバイル(株)向けの携帯電話端末についても修理業務を開始いたしました。修理業務の機種が拡大し9月末現在で13機種を修理しております。今後中興通訊として日本国内での販売拡大が期待されるため、新機種の修理業務受注に向けて継続的な活動を進めるとともに、販売支援を含め更なるビジネス拡大に向けて一層チャレンジしてまいります。

## Topics 03

## 6月1日「AND market 霞が関」オープン

霞が関ビルディング内に各通信事業者のスマートフォンのほかタブレット端末や周辺アクセサリの販売を行う専門店としてオープンいたしました。

同店は、ケータイ市場の急激な変化とそれに伴う消費者のニーズの変化にいち早く対応できるショップ運営を目指すため、接客カウンターを廃止し、タブレット端末を利用した新しい販売スタイルや有料でのお客さまサポートサービスのあり方を模索し確立するためにオープンしたものです。

同店で培ったノウハウを全国の直営店舗を含めた系列店舗に展開し事業の拡大を図ります。



reddot design award  
best of the best 2011



## Topics 04

ドコモショップスタッフ対応コンテスト  
「マイスター・オブ・ザ・  
イヤー2010」全国大会出場

全国のドコモショップスタッフ(3万2千名)の中から、全国9地区(支社)代表9名中、2地区(支社)で当社のドコモショップスタッフが選出されました。



ドコモショップ蒲田店チーフ  
末光 恵美  
関東・甲信越地区代表



ドコモショップ岡山南店副店長  
小林 亜由美  
中国地区代表

## Topics 05

KDDI(株)より  
Wi-Fi電波調査業務を受注

KDDI(株)は、2011年6月に無料公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」を開始いたしました。2011年度末までに国内最大級となる10万カ所でWi-Fiが利用可能となる予定です。

5月にKDDI(株)よりWi-Fiゾーン開拓に向けた請負業務を受注し、原宿竹下通り、府中東京競馬場、空港など、エリア調査に関する業務を開始いたしました。

KDDI(株)Wi-Fi事業の拡大に向けて、調査業務の拡大と機器の調達から保守までの総合的な提案を行っていきます。

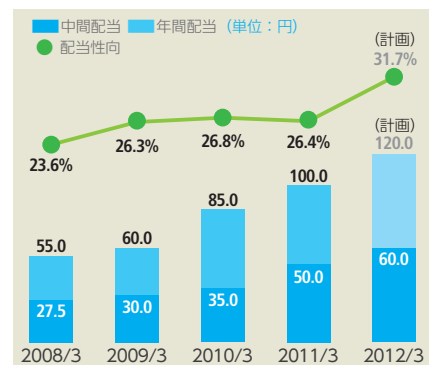
# 財務諸表ダイジェスト

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目           | 前期           | 当中間期         |
|--------------|--------------|--------------|
|              | 2011年3月31日現在 | 2011年9月30日現在 |
| <b>資産の部</b>  |              |              |
| 流動資産         | 57,169       | 54,885       |
| 固定資産         | 13,815       | 13,297       |
| 資産合計         | 70,984       | 68,182       |
| <b>負債の部</b>  |              |              |
| 流動負債         | 27,685       | 22,948       |
| 固定負債         | 4,567        | 4,659        |
| 負債合計         | 32,252       | 27,607       |
| <b>純資産の部</b> |              |              |
| 株主資本         | 39,401       | 41,380       |
| 資本金          | 2,371        | 2,371        |
| 資本剰余金        | 2,707        | 2,707        |
| 利益剰余金        | 34,323       | 36,302       |
| 自己株式         | △ 0          | △ 0          |
| その他の包括利益累計額  | △ 669        | △ 805        |
| 純資産合計        | 38,732       | 40,575       |
| 負債純資産合計      | 70,984       | 68,182       |

## ■ 1株当たり配当金



当中間期に利益を計上したことにより純資産合計は2011年3月末に比べ1,843百万円増加しました。

## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科目             | 前中間期                 | 当中間期                 |
|----------------|----------------------|----------------------|
|                | 2010年4月1日～2010年9月30日 | 2011年4月1日～2011年9月30日 |
| 売上高            | 62,958               | 61,418               |
| 売上原価           | 52,761               | 50,476               |
| 売上総利益          | 10,197               | 10,942               |
| 販売費及び一般管理費     | 5,471                | 6,038                |
| 営業利益           | 4,726                | 4,904                |
| 営業外収益          | 172                  | 163                  |
| 営業外費用          | 57                   | 61                   |
| 経常利益           | 4,841                | 5,006                |
| 特別利益           | 50                   | —                    |
| 特別損失           | 245                  | 118                  |
| 税金等調整前当期純利益    | 4,646                | 4,888                |
| 法人税等           | 2,042                | 2,183                |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 2,604                | 2,705                |
| 当期純利益          | 2,604                | 2,705                |

携帯電話端末の修理から取替に需要が移ったことから、販売台数は増加したものの、保守サービスが減少し、売上高は前年同期に比べ2%の減少となりました。

販売台数の増加や個々のショップにおける損益改善努力などにより過去最高益を更新しました。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科目                 | 前中間期                 | 当中間期                 |
|--------------------|----------------------|----------------------|
|                    | 2010年4月1日～2010年9月30日 | 2011年4月1日～2011年9月30日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー   | 2,662                | 2,475                |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー   | △ 1,105              | △ 203                |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー   | △ 740                | △ 753                |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額   | △ 1                  | △ 0                  |
| 現金及び現金同等物の増加(△減少)額 | 816                  | 1,519                |
| 現金及び現金同等物の期首残高     | 20,587               | 23,240               |
| 現金及び現金同等物の期末残高     | 21,403               | 24,759               |

営業活動によるキャッシュ・フローなどにより、現金及び現金同等物は、2011年3月末に比べ1,519百万円増加しました。

# セグメント別ハイライト

## モバイルセールス事業

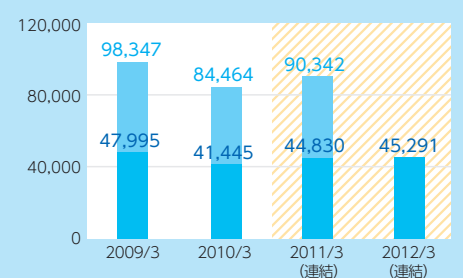
当中間期においては、各種スマートフォンやタブレット端末、フォトパネルやWi-Fi (wireless fidelity) ルーター機能端末など、通信事業者による端末の品ぞろえが充実いたしました。スマートフォンにおいて、従来から好評だった「おサイフケータイ」や防水等の機能の搭載が進むとともに、海外製のグローバル端末の投入も強化されたことから普及が進み、販売市場は拡大しました。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、スマートフォン専門ショップ「AND market 霞が関」の開設、スマートフォン・コンシェルジュ・サービス（注1）、ビジュアル・コンシェルジュ・サービス（注2）等のお客さまサービス向上施策を実施することで、スマートフォンなどの高機能端末の拡販を図り、販売台数は前年同期と比較して約1割の増加となりました。

この結果、売上高は、スマートフォンやデータ通信専用端末（フォトパネルなど）の増加に伴う機種ミックスの変化から端末の平均販売単価が減少したことなどにより、前年同期と比較して横ばいの452億91百万円（前年同期比 1.0%増）となりました。営業利益については、販売台数の増加に加え、個々のショップにおける損益改善努力、アクセサリなど携帯電話端末の周辺商材の拡販などの経営改善の取り組みの強化により、20億28百万円（前年同期比 38.8%増）となりました。

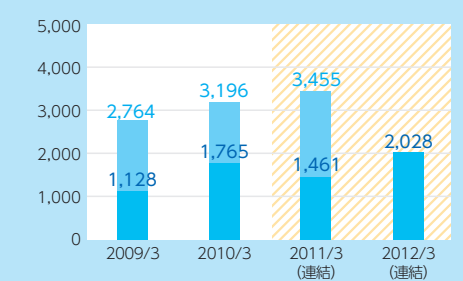
### 売上高

(単位：百万円)



### 営業利益

(単位：百万円)



(注1) スマートフォン・コンシェルジュ・サービス・・・スマートフォン初期設定サポート

(注2) ビジュアル・コンシェルジュ・サービス・・・テレビ電話を利用したスマートフォンお客さまサポート

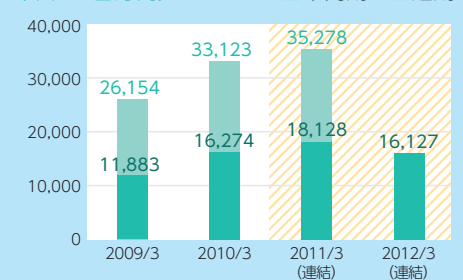
## モバイルサービス事業

当中間期においては、通信事業者によるネットワーク品質改善に向けた取り組み強化およびスマートフォン普及に伴う通信ネットワークの拡充などから、基地局整備関連需要が増加しました。しかしながら、通信事業者によるスマートフォン販売促進施策の強化やスマートフォンの平均販売単価の減少などにより、携帯電話端末の取替需要が堅調に推移した一方で、保守サービス需要は減少しました。

この結果、売上高は161億27百万円（前年同期比 11.0%減）となりました。営業利益については、原価低減などの経営効率の改善に努めましたが、28億76百万円（前年同期比 11.9%減）となりました。

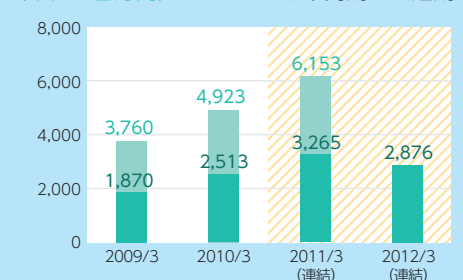
### 売上高

(単位：百万円)



### 営業利益

(単位：百万円)



# 会社情報

(2011年9月30日現在)

## 会社概要

|        |   |
|--------|---|
| 商号     | NECモバイルリング株式会社  |
| 本社     | 〒100-6006<br>東京都千代田区霞が関三丁目2番5号  |
| 設立     | 1972年12月15日   |
| 資本金    | 23億7,078万円  |
| 従業員数   | 連結：1,232名 単独：1,074名   |
| 拠点     |   |
| 国内     | 支店：10拠点<br>携帯ショップ：234店<br>サービスセンター：5拠点<br>エンジニアリングセンター：7拠点            |
| 海外     | 1拠点   |
| WEBサイト | <a href="http://www.nec-mobiling.com">http://www.nec-mobiling.com</a> |

## 株式の状況

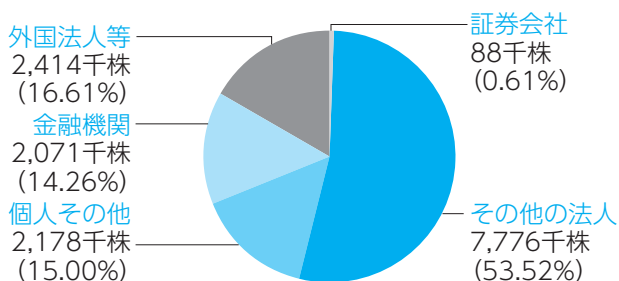
|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 48,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 14,529,400株 |
| 株主数      | 6,106名      |

## 大株主 (上位5名)

| 株主名  | 当社への出資状況 |          |
|--|----------|----------|
|  | 持株数 (千株) | 出資比率 (%) |
| 日本電気株式会社                                   | 7,410    | 51.00    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社<br>(信託口)                | 876      | 6.03     |
| MELLON BANK, N.A. TREATY CLIENT<br>OMNIBUS | 511      | 3.52     |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社<br>(信託口)              | 425      | 2.93     |
| BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND     | 300      | 2.06     |

(注) 1. 持株数は、いずれも千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 出資比率は、いずれも小数点第3位を四捨五入しております。

## 所有者別株式数分布状況



## お知らせ

当社はIRサイトの更新情報などをEメールでお知らせするサービスを行っております。  
ご希望の方は下記URLからご登録ください。

[http://www.nec-mobiling.com/html/ir/ir\\_mail.html](http://www.nec-mobiling.com/html/ir/ir_mail.html)

Mail  
IR情報メール登録  
募集中

## 役員

| 取締役            | 執行役員            |
|----------------|-----------------|
| 代表取締役 山崎 耕司    | *4 社長 山崎 耕司     |
| 取締役 長島 優       | *4 執行役員常務 長島 優  |
| 取締役 小島 和人      | *4 執行役員常務 小島 和人 |
| 取締役 庭野 修次      | *4 執行役員 庭野 修次   |
| 取締役 安藤 賢一      | *4 執行役員 安藤 賢一   |
| 取締役 中井 真人      | *4 執行役員 中井 真人   |
| *13 取締役 佐藤 慶太  | 執行役員 田中 哲男      |
| *1 取締役 松倉 肇    | 執行役員 奥江 一仁      |
| 監査役            | 執行役員 酒井 宣行      |
| *2 常勤監査役 福田 和樹 | 執行役員 高野橋 龍一     |
| 常勤監査役 佐藤 益次郎   | 執行役員 森光 宏之      |
| *23 監査役 橋本 副孝  |                 |
| *2 監査役 川上 耕毅   |                 |

\*1 社外取締役 \*2 社外監査役  
\*3 東京証券取引所の定めに基づく独立役員  
\*4 取締役を兼務する執行役員

## 株主メモ

|        |   |
|--------|---|
| 事業年度   | 毎年4月1日から翌年3月31日まで   |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催  |
| 基準日    | 定時株主総会 毎年3月31日<br>期末配当金 毎年3月31日<br>中間配当金 毎年9月30日<br>その他必要があるときは、<br>あらかじめ公告して定めた日 |

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701

東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-176-417

(ホームページ) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

特別口座について 株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 当社のホームページに掲載します。  
<http://www.nec-mobiling.com>  
但し、事故その他やむを得ない事由によって当社のホームページによる公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

